

東洋産業ハイリング工場見学会

2019 年 11 月 25 日

この度、センクシア株式会社様からご提案いただいた鉄骨梁貫通補強を製作している東洋産業株式会社様の工場見学会を開催させていただきました。

開会の後、センクシア株式会社東北営業所所長 遠藤様と東洋産業株式会社社長 加藤様よりご挨拶をいただき、東洋産業工場の概要について説明を受けました。

東洋産業様は「リングロール製品」のパイオニアで、現状は大型トラックのベベルギアと呼ばれるエンジンからの動力を左右の車輪に振り分けるギアにおいて、国内で 70%以上のシェアを誇り、この工場なくしては国内の大型トラックが完成しないというお話を聞き、少し前にテレビで放送されていた下町ロケットの世界がこんなにも近くにあり、日本の「ものづくり」の凄さを知るよい機会となりました。



ハイリングも元々は鋳物として製作されてきましたが東洋産業様の技術によって 2008 年から試作を行い、新たに「日立ハイリングⅡ工法」として生まれ変わりました。また現在では「日立ハイリングⅢ工法」としてハイリングと SP スティックを組み合わせる使用することにより、応力に対して様々な補強パターンが適用できるよう改良されているとのことでした。



説明を受けた後に工場を見学させていただきました。2 班に分かれ、それぞれに工場の担当の方が付き添って、細かく説明してくださり、とても解りやすかったです。

製造工程は、切断→加熱→鍛造→ローリング→熱処理→塗装という工程で、全て自動で動く一貫したラインとなっています。

鉄を溶かす高温の機械やその後それを成形する 7000 t のプレス機械など、迫力がとても凄く、圧倒されました。リングを成形するローリ

ングの技術がこの工場独自の特殊な技術という話で、加熱された鉄が綺麗に成形されていく様子がとても印象的でした。また、塗装の工程でロボットが次から次へと動く姿は、テーマパークのアトラクションのようで、ずっと見ても飽きないくらいでした。

工場見学の後、事務所に戻って、質疑対応をして頂きました。ここ数年で工場用ロボットの発展により、作業・効率性が上昇したことや現在は新たに「スマートダイヤⅡ」について開発・改良に取り組んでいることなど、多くのお話を頂くことができました。

最後に工場と参加者のみなさんで記念写真を撮影しました。



東洋産業様にとっては、JSCA 東北支部が初めての工場見学だったということでしたが、説明や工場案内などとても解りやすく、非常に有意義な見学会となりました。センクシア株式会社様と東洋産業株式会社様に感謝いたします。この度は、本当にありがとうございました。

JSCA 事業委員会賛助会 WG 主査 黒滝 智広